

シンポジウム2 SY2-5 九州高気圧環境医学会の現状

中島正一

社会医療法人シマダ 嶋田病院

今回、九州高気圧環境医学会の現状について報告します。現在の会員数は名誉会員2名、正会員41名、協力会員37名で合計80名となっています。また、施設会員数は29施設、賛助会員数は4企業となっています。施設会員については、各施設で医師および医療技術・一般でそれぞれ1名ずつの登録が可能となっており、医師が25名、医療技術・一般で19名の合計44名が登録されています。世話人および監事は13名、評議員は九州県内および他県で27名が推薦されています。事務局は、佐賀大学医学部附属病院内に設置しております。

年会費は正会員3千円、協力会員千円、医師評議員・監事6千円、技師評議員3千円、施設会員一万円、賛助会員五万円となっています。その他として雑誌広告費や抄録販売費などにて九州高気圧環境医学会の運営を行っています。学術集会においては、大会長に日本高気圧潜水医学会および九州高気圧環境医学会から61万円の補助および大会長の努力にて学会の運営を行っています。今回の九州高気圧環境医学会学術集会は九州・沖縄高気圧環境懇話会を含め37回の開催となります。大会長は各県の持ち回りとしており、それぞれに大会長の創意工夫により滞りなく成功裡に進んでいます。演題内容も潜水・環境・臨床と様々で教育の場としては十分すぎる内容でその役割を果たしていると思います。

現在は、高気圧酸素治療装置設置施設の現状を把握し、メディカルコントロール協議会を通じて症状機関や医療機関の連携強化をはかり九州内でのネットワーク構想も検討しております。今後も、高気圧酸素治療の発展に少しでも尽力できる地方学会でありたいと考えています。